

ローズキングダム、トウカイメロディの2頭は強い！

先週の秋華賞で時事馬券を買うことにし、「円高」1ドル81円から、1と8を想定して、馬など無視して数字だけで1-8の枠連、馬連などを買ってみたら、かすりもしなかった。また、時事馬券ファンが盛り上がっていた「33人奇跡の生還」（チリの鉱山生き埋め事件）からの3絡みも、まるで関係なかった。

アパパネは、問題なく強かったと言うしかない。

さて、今週の菊花賞だが、もう一度「円高馬券」1-8（枠連、馬連）を買おうと思っていたら、なんと1ドル80円になってしまった。0という数字は馬券にないから、結局、円高馬券は成立しないと判断、今週は昔ながらに、オーソドックスに予想してみることにした。

枠順が発表になったので、さきほどまで出馬表を見ながら、30分ほど考えていた。ただ、真面目に考えれば考えるほど、馬券は当たらない。とくに長い時間考えたときほど、当たらない。そこで、30分で打ち切った。

以下、30分間考えてみたことを書くと、次のようになる。

やはり、ローズキングダムは強い。ダービーでのクビ差2着を前走の神戸新聞杯でひっくり返したことを考えると、外すわけにはいかない。昔、神戸新聞杯は2000mで勝馬が菊に直結しないこともあったが、いまは2400m。成績は即、菊に結びつく。父キングカメハメハなら、距離面の心配もないだろう。しかも、ダービー馬エイシンフラッシュ（牡3＝藤原英厩舎）が取り消してしまったので、さらに有利。

冷静に考えて、この馬を外す理由はない。

続いては、北海道で3連勝した上がり馬トウカイメロディ。この馬も相当強そう。3連勝の内容もよく、父もチーフベアハートだから距離も問題ないだろう。チーフベアハートといえ、BC馬だが1998年のジャパンカップで来日して、エルコンドルパサーの4着に負けている。このときはラシックスが使えなかったのも、能力が発揮できなかったと言われた。

ほぼこの2頭の一騎打ちではないだろうか。展開を考えると、3角からまくり気味に直線で先頭に立ったトウカイメロディを、武豊ローズキングダムが差して来る。そんなシーンが目に浮かぶ。ローズキングダムが、果たしてゴール前で逆転できるかどうか？ そんな菊花賞になるだろう。

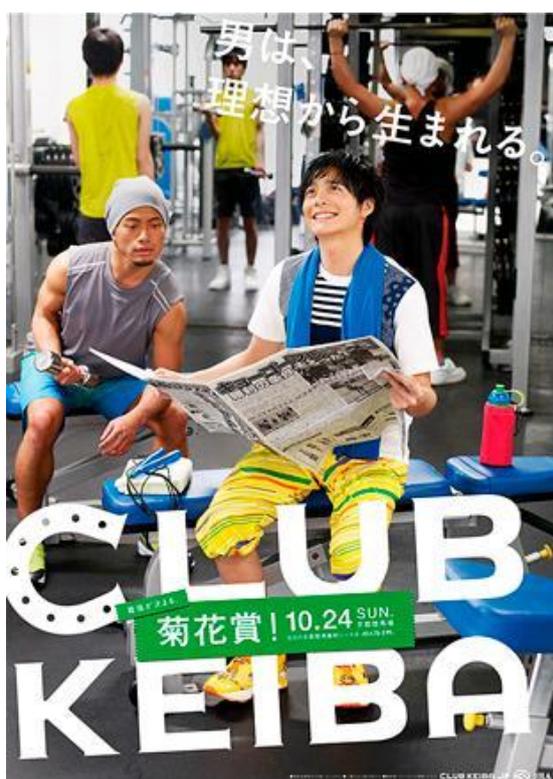
3番手は、成績から見るとヒルノダムール。前走札幌記念では出遅れが響いて4着だが、先着を許したのは古馬の一級戦ばかりで、頭差で競り負けたアクシオンは宝塚記念の3着馬。当然、出走馬中、この世代の2番手の評価をするしかない。しかし、父がマンハッタンカフェというところに難点がある。マンハッタンカフェは自身が菊花賞馬なのに、産駒はなぜか長距離が苦手だ。

したがって、アロマカフェ、ゲシュタルト、シルクオールディエなどもマンハッタンカフェ産駒なので、信用し難い。中距離までではないか。同じく、血統から考えると、アグネスタキオン産駒のクォークスターも中距離馬で3000mはきついのではないかと思う。

これなら、父が凱旋門賞馬バゴのビッグウィーク、ゼンノロブロイ産駒のトレイルブレイザー、モンジュール産駒のリリエン

タール、スペシャルウィーク産駒のレーヴドリアン、グラスワンダー産駒のシルクアーネストなどのほうが、成績はどうであれ、買ってみる価値はある。

というわけで、ローズキングダム、トウカイメロディの2頭をアタマの3連単で、3着にビッグウィーク、トレイルブレイザー、リリエントール、レーヴドリアン、シルクアーネストを置いた10点買い。こんなところでいいのではないだろうか。これ以上考えても仕方ない。



それにしても今回のポスターはひどい（コピーの意味も不

明)

第71回 菊花賞 (京都競馬場3000メートル芝)

- 1 (1) ヒルノダムール 57 藤田
- 1 (2) レーヴドリアン 57 福永
- 2 (3) クォークスター 57 藤岡佑
- 2 (4) ネオヴァンドーム 57 武 幸
- 3 (5) シルクアーネスト 57 松山
- 3 (6) ビッグウィーク 57 川田
- 4 (7) ミキノバンジョー 57 太宰
- 4 (8) トレイルブレイザー 57 和田
- 5 (9) シルクオールディー 57 四位
- 5 (10) ローズキングダム 57 武 豊
- 6 (11) リリエントール 57 安藤勝
- 6 (12) ビートブラック 57 幸
- 7 (13) ゲシュタルト 57 池添
- 7 (14) コスモラピュタ 57 津村
- 7 (15) トウカイメロディ 57 吉田隼
- 8 (16) カミダノミ 57 小牧太
- 8 (17) アロマカフェ 57 柴田善
- 8 (18) サンディエゴシチー 57 浜中